



★新しい求人検索機能「Google for jobs」が日本でリリース！

■Google for jobsとは

Googleの新たな機能で、求人に関するキーワードを検索するとユーザーのニーズに合った求人情報が複数まとめて表示されます。アメリカで2017年6月にリリースされたのち、世界中のさまざまな国で展開され、ついに1月23日に日本でリリースされました。

※日本での名称は「Googleしごと検索」です

■Google for jobsの登場で何が変わる？

これまでは興味のある仕事に関するキーワードを検索した後、希望の求人が見つかるまで求人メディアをいくつも回り情報を収集することの繰り返しでした。Google for jobsでは複数の求人情報がまとめて表示されるので、希望の求人を発見する過程が短縮され、より仕事探しが簡単になる可能性があります。

■検索結果画面にどのように表示される？※例外あり



検索ワード

リスティング広告エリア

※画面最上部はリスティング広告エリアですが、その下に表示されるので、多くのクリックが発生すると考えられています。

Google for Jobs

オーガニックエリア
Indeedが強い

■ブラウザごとのGoogle for jobsの表示有無

現時点で表示されるブラウザ			現時点で表示されないブラウザ
Google Chrome	Firefox	Safari	Internet Explorer
Microsoft Edge	Yahoo!ブラウザ	Opera	

※2019年2月25日時点での情報

参考：ググチエ (<https://gfc-japan.com/>)
Google しごと検索 (Google for Jobs) が日本にもやって来た！～求人業界を変える新機能～
(<https://digitalidentity.co.jp/blog/seo/google-for-jobs.html>)

★【外国人雇用】2019年4月より在留資格「特定技能（仮称）」が新設予定

在留資格「特定技能（仮称）」とは

- ・**特定技能1号**：相当程度の知識又は経験を伴った技能を要する業務につく外国人向け
- ・**特定技能2号**：熟練した技能を要する業務につく外国人向け
- ・**特定産業分野とは（14分野）**：介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、農業、漁業、電気・電子情報関連産業、建設、造船・船用工業、自動車整備、航空、宿泊、飲食物品製造業、外食業

（特定技能2号は下線部の2分野のみ受入れ可）

受け入れ業種と規模

受け入れ業種	2019年～2024年 特定技能 受け入れ規模
介護	50,000人 ～ 60,000人
外食業	41,000人 ～ 53,000人
建設業	30,000人 ～ 40,000人
ビルクリーニング	28,000人 ～ 37,000人
飲食物品製造業	26,000人 ～ 34,000人
宿泊業	20,000人 ～ 22,000人
農業	18,000人 ～ 36,500人
他、職種	49,700人 ～ 62,650人
合計	262,700人 ～ 345,150人

■介護■

介護施設での入浴や食事などの補助的業務が対象。
訪問介護は対象外となる予定。

■外食■

調理・接客・店舗管理などの業務が対象。

■建設■

受け入れ人数枠の設定や、報酬などを記した計画の認可が条件とされる予定。

【2019年秋ごろを想定】

■宿泊■

フロントでの受付や接客、企画・広報、ホテル内のレストランの給仕などが対象。

これまで留学生のアルバイトなど限定的にしか雇用できなかった海外人材を全面的に受け入れ可能になります。ただし、詳細は確定していません。2019年3月から各庁で順次、問合せ窓口を開設予定です。法律が後からついてくると予想し、留学生・特定技能ビザ・介護ビザの外国人を社内で採用するまたは受け入れる体制を構築しておきましょう。

※2019年2月18日時点 参考：<https://visa.yokozeki.net/tokutei-ginou/>

★業界の流れ ～現金からスマホ決済へ～

上島珈琲、6種類のスマホ決済対応 大手町店は現金不可に！！

UCCホールディングス（HD）は「上島珈琲」で直営店全店にあたる88店舗でスマートフォンでのQRコード決済を始めたと発表しました。
特に「東京・大手町店」では商品の事前注文サービスを始め、**現金を一切使えない店舗**にしました。

★利点★

- ★会計やレジ締め、現金の再確認などの業務を省くことができます。
- ⇒人手不足に悩む外食店での**作業量・人件費を抑える**ことができます。
- ⇒混雑時の利便性があがります。

×欠点×

- ★スマホ決済できない人は利用できません。
- ⇒高齢者などのスマホになれていない人が多いからです。



飲食店の人手不足解消や海外旅行者の集客アップをはかれるようになります。
今後、スマホ決済はトレンドになると予想されます。

参考
<https://www.nikkei.com/article/DGX-MZO40762770R00C19A2XQH00/>